

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月27日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中区栄新町1-5 日石栄ビル3階	
氏 名 住友不動産株式会社 住宅再生事業本 新築そっくりさん 東海事業所 事業所長 清浦 雅生 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-957-3550	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友不動産株式会社 住宅再生事業本部 新築そっくりさん 東海事業所
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区新栄町1-5 日石栄ビル3階
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 : 3,329百万円
③従業員数	64人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) 各現場(各排出事業場)で発生した廃材はすべて中間処理業者に委託。その後中間処理業者で再資源化、再生業者に委託又は、埋立処分とする。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>住宅再生事業本部 ↓ 事業所長 (処理計画統括責任者) ↓ 建築工事本部 ↓ 住宅施工部 (処理計画作成担当・廃棄物担当)</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 ( 23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	排 出 量	1368.58 t	604.85 t
	(これまでに実施した取組)		
解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	排 出 量	1200 t	550 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の敷地状況によって最大限分別に努めている。 木くず、ボード等を優先的に分別。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 大きなパレットを置くのではなく、数個の小型パレットないし トン袋を数多く置くことによって分別に努める。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	全処理委託量	1368.58 t	604.85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	85.33 t	40.23 t
	再生利用業者への処理委託量	1114.54 t	462.91 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生処理業者への委託を行う		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 建設混合廃棄物	2 がれき類
	全処理委託量	1200 t	550 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	240t	100t
	再生利用業者への 処理委託量	720t	170t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
リサイクル率の高い中間処理業者へのシフト 優良認定処理業者へのシフトを進める			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	排出量	187.94 t	2.03 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラスくず	6 廃プラスチック類
	排出量	196.18 t	1.68 t
	(これまでに実施した取組)  解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	排出量	170 t	1.8 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラスくず	6 廃プラスチック類
	排出量	175 t	1.5 t
	(今後実施する予定の取組)  産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の 再資源化、効率化を図る。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラス類	6 廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラス類	6 廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
実施する予定はない			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず 4 金属くず	5 ガラス 6 廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず 4 金属くず	5 ガラス 6 廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
実施する予定はない			



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず 4 金属くず	5 ガラス 6 廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず 4 金属くず	5 ガラス 6 廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	全処理委託量	187.94 t	2.03 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	170.8 t	2.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラスくず	6 廃プラスチック類
	全処理委託量	196.18 t	1.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	1.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生処理業者への委託を行う		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	3 木くず	4 金属くず
	全処理委託量	170 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	35 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	135 t	2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	5 ガラス類	6 廃プラスチック類
	全処理委託量	175 t	1.3t
	優良認定処理業者への 処理委託量	35 t	0.3t
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	1t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0t
	(今後実施する予定の取組)		
	リサイクル率の高い中間処理業者へのシフト 優良認定処理業者へのシフトを進める		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	排出量	2.69 t	0.15 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	排出量	19 t	
	（これまでに実施した取組）		
解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	排出量	2 t	0.1 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	排出量	17 t	
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
実施する予定はない			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず 8 紙くず	9 石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず 8 紙くず	9 石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず 8 紙くず	9 石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず 8 紙くず	9 石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	全処理委託量	2.69 t	0.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2.69 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	19 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生処理業者への委託を行う		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	7 繊維くず	8 紙くず
	全処理委託量	2.4 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	2.4 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	9 石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	17 t	0t
	優良認定処理業者への 処理委託量	17 t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0t
	(今後実施する予定の取組)		
	リサイクル率の高い中間処理業者へのシフト 優良認定処理業者へのシフトを進める		

